

# 大阪大学 社会技術共創研究センター（通称、ELSIセンター）

Research Center on Ethical, Legal and Social Issues

2020年4月設立

<https://elsi.osaka-u.ac.jp/>

3つの部門と4つの機能

## まもなく5周年

### 総合研究部門

方法論やガバナンスの在り方等について**総合的に研究**する。

### 実践研究部門

学内・学外の研究者・事業者と連携し、**共同研究プロジェクトを形成・推進**する。

### 協働形成研究部門

学外のステークホルダーをつなぎつつ、幅広い市民の声を**産業界・行政機関等につなぐ**。

### ELSI人材の育成

3部門が連携し、ELSI教育プログラムを開発。**ELSI人材を創出**し、社会の中での定着を目指す。

**3 部門長 + 20名**（専門分野も多様）

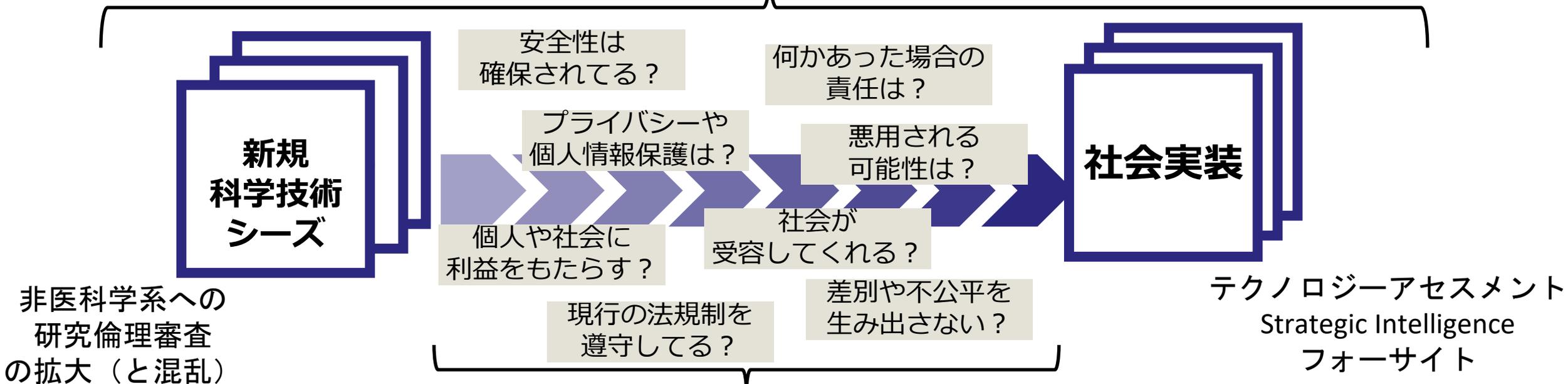
情報通信法、ロボット法、AIと法、国際私法、憲法学、社会学、リスク学、科学社会学、情報法、臨床哲学、倫理学、社会学、情報の哲学、顔認証技術、科学史・科学論、科学哲学、科学技術社会論、科学コミュニケーション、音楽学



岸本充生 D3センター教授・部門長  
社会技術共創研究センター長

# 技術と社会の間のギャップを埋めるノウハウの研究開発

## 責任ある研究・イノベーション (Responsible Research and Innovation)



## 倫理的・法的・社会的課題 (ELSI: Ethical, Legal and Social Issues)

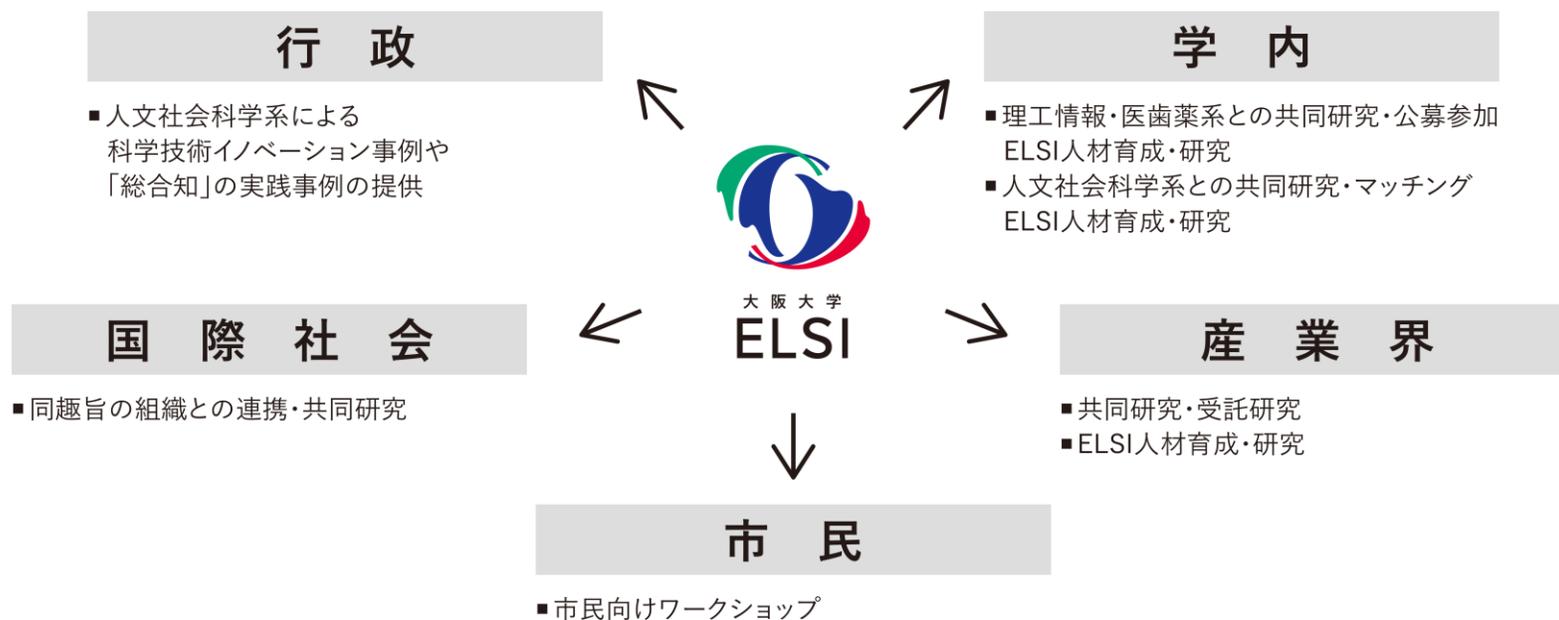
「ギャップを埋めるノウハウ」のことを「社会技術」と呼ぶ。

# いろいろな組織を「ELSI」でつなぐ

## 連携している学内組織

COデザインセンター  
 社会ソリューションイニシアティブ  
 中之島芸術センター  
 ヒューマン・メタバース疾患研究拠点  
 法学研究科  
 産業科学研究所  
 医学系研究科  
 感染症総合教育研究拠点  
 D3センター  
 数理・データ科学教育研究センター  
 研究オフィス  
 OUDX推進室  
 SEEDSプログラム  
 情報科学研究科  
 レーザー科学研究所  
 健康スポーツ科学教育研究環  
 エマージングサイエンスデザインR3センター  
 スチューデント・ライフサイクルサポートセンター

“ELSI対応なくしてイノベーションなし”



# ELSIセンターの「アジャイルな」研究スタイルの事例①

2022年11月30日  
OpenAIは正式に  
ChatGPTをローンチ



2024年4月あたま



KISHIMOTO, Atsuo 2023年1月6日 20:59

定例とは別に（いずれ定例でも取り上げるとして、その前の段階として）、<何人か関心のある人がいたら>ChatGPTをはじめとする生成AI（テキストから画像や映像も含む）のELSIについて気軽にしゃべる会を開催したいと思います。関心のある人いますか？



2024年9月あたま

2023.4.17 Mon 名 先生

## 生成AI (Generative AI) の利用について

学生の皆さんへ

自然言語やプログラムコード、画像などさまざまなメディアを、ユーザーの質問に応じて生成できる生成AIの開発が急速に進んでいます。例えば、ChatGPTのような自然言語AIチャットボットは、インターネット上に存在する膨大な量のテキストデータを使い、与えられた文脈における単語やフレーズを予測して、求められた要望に対する文章等を生成します。このような生成AIに適切な問いや情報を与えることで、さまざまなタスクを、従来よりもはるかに洗練された方法で支援することが可能となり、効率的に作業を進めることができます。そのため、適切に使うことができれば、大変有用なツールになります。

しかしながら、このようなツールは、さまざまな問題点に留意しながら利用しなければなりません。まず、インターネット上の情報は、正しいものばかりではなく、生成AIで作られた文章には誤りが含まれることもあります。生成AIから得られた回答を、その真偽を正しく判断せずに自分の言葉として発信した場合、さまざまなリスクをばらむことがあります。このリスクについて、一人ひとりが認識してください。

生成AIへ投げかけた質問事項やその記載内容が、システムに蓄積・学習される可能性があり、情報の漏洩に繋がる恐れがあります。個人情報や機密情報を提供しないように注意してください。また、特に画像生成AIでは、他者が作成した画像や写真などを取り込むこと自体が著作権侵害となる可能性がありますので、注意してください。

生成AIツールで成果物を作成するだけでは、学びは深まりません。高等教育の意義は、さまざまな情報を活用し、自らの考えを創り上げ、さらには、自らと異なる意見や考えに耳を傾けて、人と人との対話を通して独自の考え方やアイデアを生み出すところにあります。大学での学びは学習するプロセスや豊かな人間性を育むための人的交流も重要であることを認識してください。大阪大学は、皆さんがこれからの人生で遭遇する深刻な問題、さらには社会が抱える複雑な課題について、社会のステークホルダーとともに考え、解決に向かって尽力できる人材として活躍することを望んでいます。大阪大学での日々の生活における、ゼミナールや研究室などでの研究活動における緊張感や充実感、実験での成功体験や時には失敗する体験、授業でのプレゼンテーションを終えた後の達成感、といったすべての経験がその糧になると信じています。学びの一つ一つのプロセスを大切にしてください。

生成AIの倫理的・法的・社会的課題としての論点について、本学 社会技術共創研究 (ELSI) センターが2023年4月にELSI NOTE No.26「[生成AI \(Generative AI\) の倫理的・法的・社会的課題 \(ELSI\) 論点の概観：2023年3月版](#)」としてまとめています。このような話題に興味がある学生のみなさん、ぜひ、ご参照ください。



大阪大学 社会技術共創研究センター  
Research Center on Ethical, Legal and Social Issues

ELSI NOTE No.26 2023年4月10日

### 生成AI (Generative AI) の倫理的・法的・社会的課題 (ELSI) 論点の概観

2023年3月版

Authors  
カワライ アメリア 大阪大学 社会技術共創研究センター (ELSIセンター) 特任助教 (2023年4月現在)  
井出 龍希 大阪大学 社会技術共創研究センター (ELSIセンター) 特任准教授 (2023年4月現在)  
岸本 寛生 大阪大学 社会技術共創研究センター (ELSIセンター) センター長 (2023年4月現在)

Acknowledgements  
本NOTEはプロジェクトは、2023年1月6日のあたまから「生成AIの活用について」をテーマにしたイベントを開催し、その中で議論された内容を基に作成されたものです。その後も、ELSIセンターから自発的にコメントや質問を受け、また、議論を深めました。謝辞を申し上げます。  
また、本NOTEは2023年4月に公開され、2023年3月10日現在でアクセス数も増えてきました。今後のアクセス数も増えていく可能性があります。

大阪大学

大阪大学 社会技術共創研究センター  
Research Center on Ethical, Legal and Social Issues

ELSI NOTE No.30 2023年9月3日

### 生成AIの倫理的・法的・社会的課題 (ELSI) 論点の概観:

2023年4～8月版

－グローバルな政策動向を中心に－

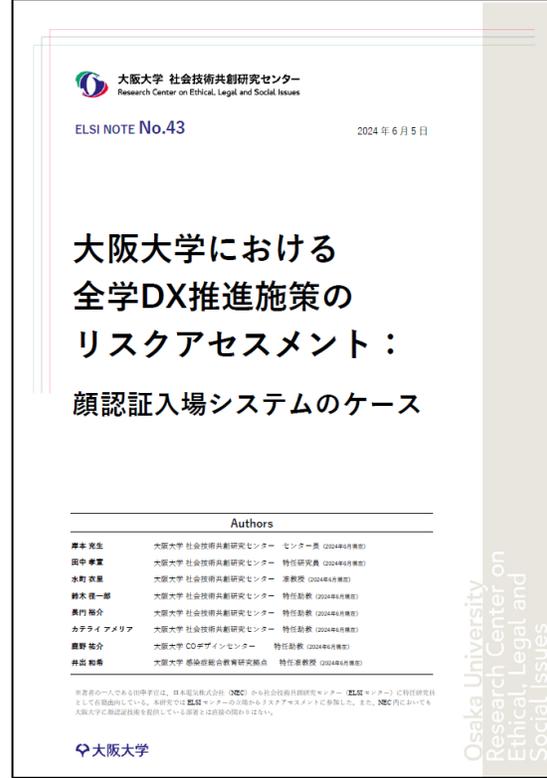
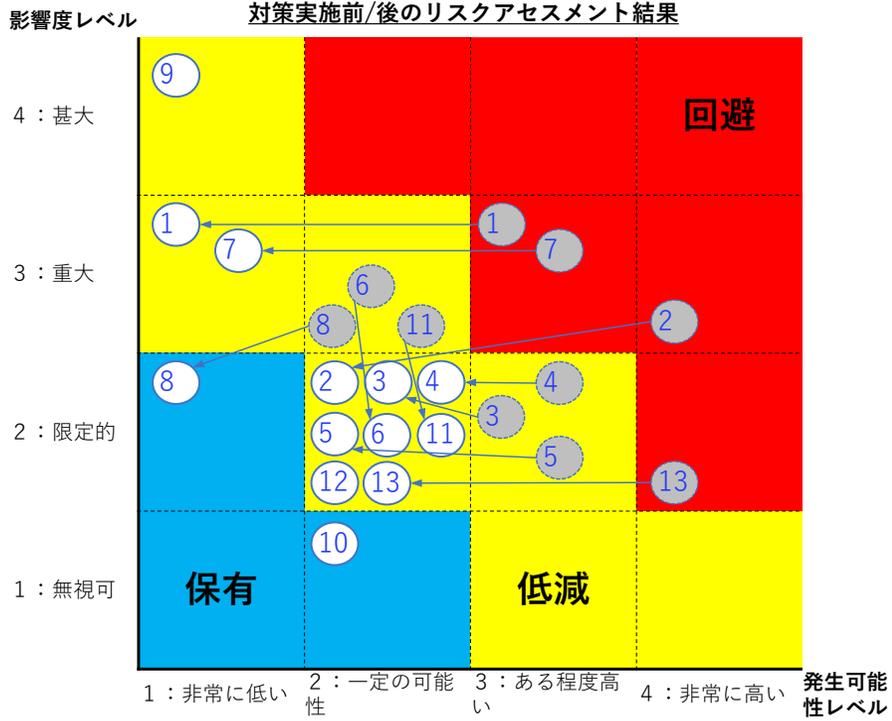
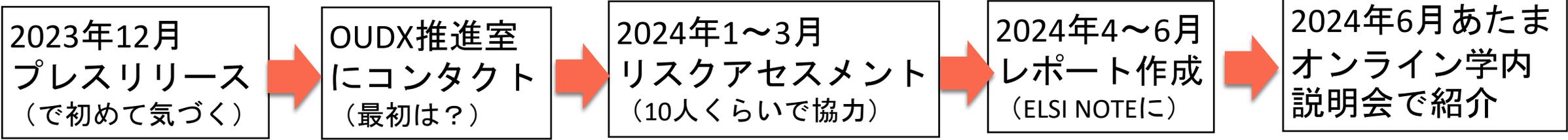
Authors  
岸本 寛生 大阪大学 社会技術共創研究センター (ELSIセンター) センター長 (2023年4月現在)  
カワライ アメリア 大阪大学 社会技術共創研究センター (ELSIセンター) 特任助教 (2023年4月現在)  
井出 龍希 大阪大学 社会技術共創研究センター (ELSIセンター) 特任准教授 (2023年4月現在)

本ELSI NOTEは2023年4月に公開され、ELSI NOTE No.26「生成AI (Generative AI) の倫理的・法的・社会的課題 (ELSI) 論点の概観：2023年3月版」(カワライ アメリア、井出 龍希、岸本 寛生) (https://osaka-u.ac.jp/elsi/elsi-note/) の発展版となります。両方ネット上で読むことも可能です。  
謝辞に記されているURLの多くは2023年9月現在でアクセスできなくなっています。その場合にアクセスができなくなる可能性があることに注意していただき、また一部に購読を必要とするURLも含まれていることをご了承ください。

大阪大学

# ELSIセンターの「アジャイルな」研究スタイルの事例②

大阪大学の顔認証入場システムのリスクアセスメントを実施・公表、学内説明会でも紹介

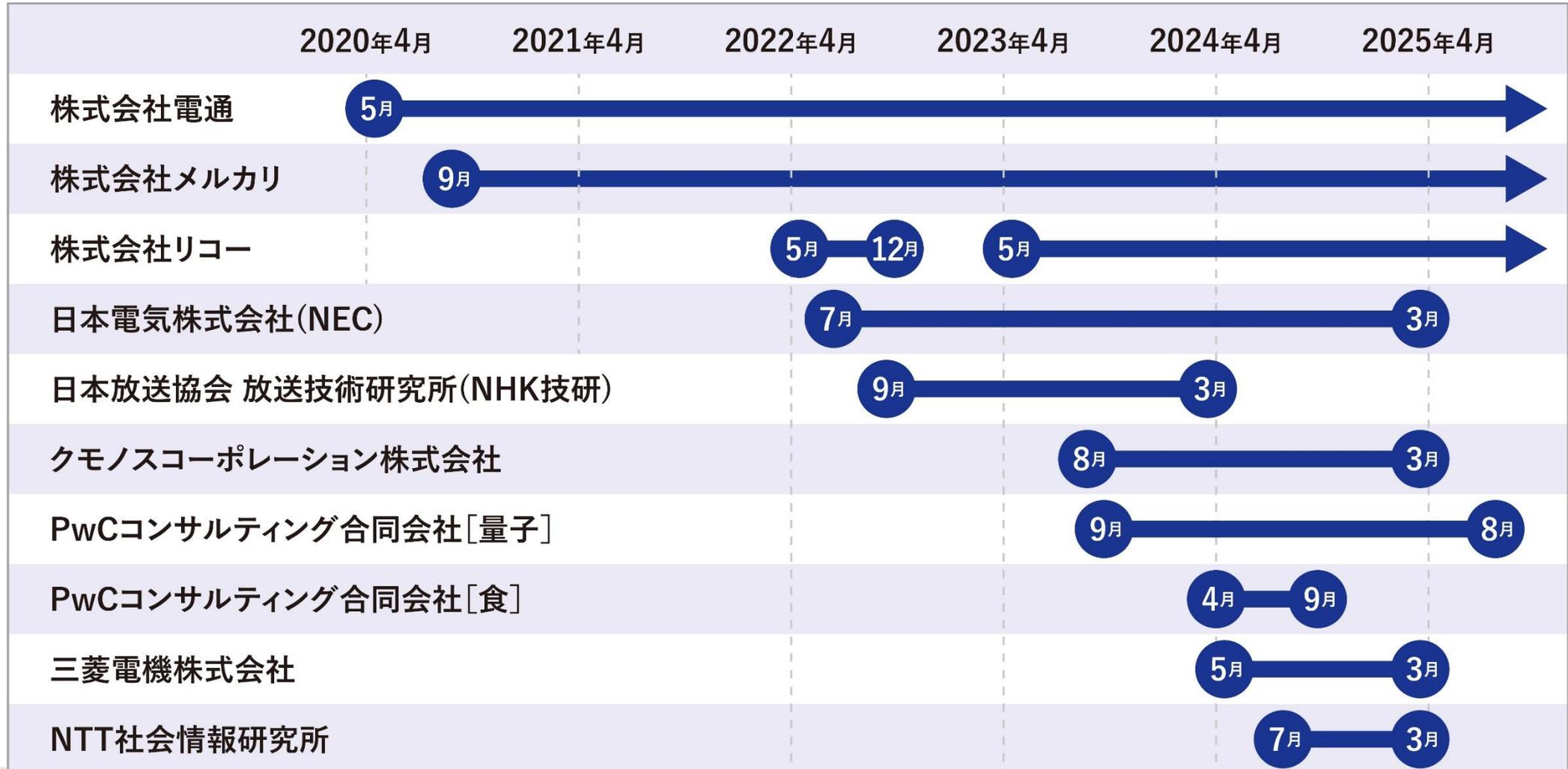


これ以降、OUDXチームと2週間に1度の定例ミーティングを継続中

ポイント：教育・業務は倫理審査などの対象外！

# ELSIセンターの人文・社会科学系の産学連携の事例①

2020年4月以降、9社（10件）の共同研究・受託研究などを実施。



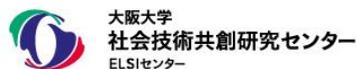
# ELSIセンターの人文・社会科学系の産学連携の事例②

## 「メルカリR4Dラボ・大阪大学協働研究所」

2025年7月1日、大阪大学ELSIセンターに設立

- 2025年1月現在、24の協働研究所が大阪大学内に設置されている中で、**人文社会科学系の協働研究所の設置は初**
- 「人文社会科学の知見を通じて、あらゆる価値が循環する社会への道を示す」
- 2025年1月30日、同時プレスリリース

## メルカリR4Dラボ・大阪大学協働研究所



2025年1月30日

大阪大学 ELSI センターに  
「メルカリ R4D ラボ・大阪大学協働研究所」を設立  
人文社会科学の視点から「あらゆる価値が循環する社会」の実現へ

### 概要

国立大学法人大阪大学（以下、大阪大学）と株式会社メルカリ（以下、メルカリ）は、2025年7月1日に、大阪大学社会技術共創研究センター（以下、大阪大学 ELSI センター）に「メルカリ R4D ラボ・大阪大学協働研究所」（以下、本研究所）を設立します。2025年1月現在、24の協働研究所が大阪大学内に設置されていますが、**人文社会科学系の協働研究所の設置は初めてです。**

人文社会科学の知見を通じて、メルカリのミッションでもある「あらゆる価値が循環する社会」への道筋を描くことを目指します。また、メルカリをフィールドワークの場として、企業活動から導かれる様々なテーマを対象にした研究を行い、得られた知見を学術的な成果として広く社会へ還元していきます。

### 「メルカリ R4D ラボ・大阪大学協働研究所」設立の背景

昨今、生成AI・LLMに代表される新たな科学技術の台頭・劇的な進歩により、それらが社会にもたらす影響の予測不能性は拡大し続けています。これに伴い、社会実装の段階において、技術的な観点のみならず、社会実装後に予期される課題やインパクトについて検証する必要性が高まっています。倫理学や法学、社会学、哲学といった人文社会科学の多様な視点を織り交ぜながら、企業側が責任を持って企業活動やサービス開発を検証していくことが重要です。

メルカリR4Dラボ・大阪大学協働研究所



大阪大学 ELSI センターは、2020年よりメルカリの研究開発組織「mercari R4D（アールフォーディー）」と、研究活動や企業活動を対象とした ELSI（ELSI: Ethical, Legal and Social Issues: 倫理的、法的、社会的課題）に関する共同研究を進めています<sup>\*1</sup>。メルカリにおける研究開発倫理審査の高度化<sup>\*2</sup>や、AI 倫理<sup>\*3</sup>、男女間賃金格差是正の取り組みに関するケーススタディ<sup>\*4</sup>など、人文社会科学分野の研究開発を行ってきました。

この度、「メルカリ R4D ラボ・大阪大学協働研究所」では、これまでの研究をさらに発展させ、人文社会科学の知見を通じて、メルカリのミッションでもある「あらゆる価値が循環する社会」への道筋を描くことを目指します。また、メルカリをフィールドワークの場として、企業活動から導かれる様々なテーマを対象にした研究を行い、得られた知見を学術的な成果として広く社会へ還元していきます。

\*1: 大阪大学 ELSI センターウェブサイト内 共創研究プロジェクト「企業における研究倫理審査や人材育成等の実践的方法論の構築」のページ